

厚生労働科学
特別研究事業

厚生労働科学研究費補助金研究事業の概要

研究事業（研究事業中の分野名）：	厚生労働科学特別研究事業
所管課：	大臣官房厚生科学課
予算額（平成16年度）：	352,241千円（研究費）
①研究事業の目的	
社会的要請の強い諸課題に関する必須もしくは先駆的な研究を支援して、当該課題を解決するための新たな科学的基盤を得ることを目的とする。	
②課題採択・資金配分の全般的状況	
（別添1参照） 例：重症急性呼吸器症候群（SARS）に関する緊急研究、伝達性海綿状脳症（BSE）に係わる牛の脊柱からの脊髄神経節の除去に関する研究、1日使用ソフトコンタクトレンズによる健康被害に関する研究、健康危機管理担当職員の資質向上のための研究プログラム なお、本研究事業は、緊急性に鑑み、課題の採択に当たり、公募は行っていないものの、事前評価委員会による評価を行った上で研究を実施している。	
③研究成果及びその他の効果	
緊急性の高い研究課題に関して、期待された知見が提供された。たとえばSARSなどの感染性疾患に対しては、サーベイランス用電子情報システムの構築、院内感染対策マニュアルや治療指針の作成、検査・治療方法の有用性の検討が行われた。	
④行政施策との関連性・事業の目的に対する達成度	
研究期間は1年以内の研究である。緊急性ある行政課題に対して科学的かつ迅速に対応することを目的として実施される重要な研究を支援するために、極めて必要性が高い。 たとえば平成15年8月6日の薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会伝達性海綿状脳症対策部会での審議結果を受けて実施された研究成果は、11月14日に開催された部会の基礎資料として活用され、新たな牛海綿状脳症（BSE）特定危険部位に指定された背根神経節について、本成果に基づき、「BSE発生の牛せき柱を食品の原料として使用してはならない」との試案が決議されている。 このように、本研究事業の成果は、緊急性の高い行政課題も含めた行政施策の基礎資料として活用されている。それぞれの研究は有効な成果が出ており、事業の目的に対する達成度は高い。	
⑤課題と今後の方向性	
新規に出てくる健康危機管理の緊急課題については、これまで通り迅速に対応する。健康機器管理担当職員の資質向上や保健医療・厚生科学研究事業の効率化等、常時実施する必要がある研究についても、着実に成果が出ており、今後も必要とされるので、このまま継続する必要がある。	

⑥研究事業の総合評価

緊急性の高い課題について、極めて効果的に事業が実施されており、必要性も高い。今後とも、一層の予算確保に努めると共に、健康危機管理に関する継続的な情報収集等も含めた行政的に重要な研究を、適切に実施する体制とすることが望ましい。

平成15年度厚生労働科学研究費補助金採択課題一覧

NO.	事業名	主任研究者	所属施設	職名	研究課題	研究名	交付決定額 (単位:千円)
1	厚生労働科学特別研究	吉倉 廣	国立感染症研究所	所長	SARSに関する緊急研究		73,500
2	厚生労働科学特別研究	宮本 昭正	日本臨床アレルギ一研究所	所長	室内空気環境における健康影響因子に関する研究		13,000
3	厚生労働科学特別研究	稲葉 英夫	金沢大学大学院医学系研究科	教授	健康危機担当職員の資質向上のための研修プログラム開発に関する研究		7,000
4	厚生労働科学特別研究	石井 則久	国立感染症研究所ハルセン病研究センター	生体防御部長	ハンセン病患者及び元患者に対する一般医療機関での医療提供体制に関する研究		5,000
5	厚生労働科学特別研究	西岡 久壽樹	聖マリアンナ医科大学難病治療研究センター	センター長	線維筋痛症の異態調査に基づいた疾患概念の確立に関する研究		6,000
6	厚生労働科学特別研究	里見 進	東北大学大学院医学系研究科先進外科学分野	教授	生体肝移植における肝提供者の提供手術後の状況に関する研究		6,000
7	厚生労働科学特別研究	上原 至雅	国立感染症研究所生物活性物質部	部長	深在性真菌症及び輸入真菌症対策に向けた総合的基礎研究		26,000
8	厚生労働科学特別研究	岸本 壽男	国立感染症研究所ウイルス第一部	室長	Q熱コクシエラによる人獣共通感染症の疫学、診断に関する研究		8,000
9	厚生労働科学特別研究	林 謙治	国立保健医療科学院	次長	国際的観点からみた保健医療分野における研究パフォーマンス評価に関する研究		15,000
10	厚生労働科学特別研究	佐藤 敏彦	北里大学医学部	助教授	わが国の疾病負担に基づく保健医療研究分野の優先順位付けに関する予備的研究		3,000
11	厚生労働科学特別研究	小川 喜道	神奈川工科大学福祉システム工学科	教授	障害者(児)の地域生活支援のあり方に関する研究		6,000
12	厚生労働科学特別研究	柳澤 信夫	労働福祉事業団関東労災病院	病院長	身体障害者の障害認定基準の最適化に関する研究		3,000
13	厚生労働科学特別研究	安西 信雄	国立精神・神経センター精神保健研究所	社会精神保健部長	精神障害を有する者にかかるケアニーズの適切な評価に関する基礎的調査研究		3,000
14	厚生労働科学特別研究	柄本 一三郎	上智大学大学院文学研究科	教授	障害年金を受給していない障害者の生活実態に関する研究		5,000
15	厚生労働科学特別研究	松島 英介	東京医科歯科大学大学院	助教授	国内外における悪性腫瘍を中心とした尊厳死に関する研究		5,000
16	厚生労働科学特別研究	小泉 俊三	佐賀医科大学附属病院	教授	医療事故リピーターの特徴及びその把握と再教育・処分制度のあり方についての研究		11,000
17	厚生労働科学特別研究	小濱 啓次	(財)日本救急医療財団	常務理事	諸外国での公共施設における除細動器の利用等の現状に関する研究		3,000
18	厚生労働科学特別研究	田中 滋	慶應義塾大学大学院 経営管理研究科	教授	医療経営の非営利性に関する調査・研究		6,000
19	厚生労働科学特別研究	会田 一雄	慶應義塾大学 総合政策学部	教授	医療法人会計基準および事業報告書作成基準の制定		2,000
20	厚生労働科学特別研究	小林 寛伊	NTT東日本関東病院	名誉院長	国、自治体を含めた院内感染対策全体の制度設計に関する緊急特別研究		43,000

NO.	事業名	主任研究者	所属施設	職名	研究課題	交付決定額 (単位:千円)
21	厚生労働科学特別研究	賀来 満夫	東北大学大学院医学系研究科病理学分野 態制御学講座分子診断学分野	教授	医療機関における院内感染対策の基盤整備に関する緊急特別研究	31,000
22	厚生労働科学特別研究	山口 一郎	国立保健医療科学院生活環境部	主任研究官	診療用放射線の防護規制に関する緊急特別研究	10,000
23	厚生労働科学特別研究	高木 裕三	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科	教授	歯科衛生士の教育年限と業務範囲に関する研究	6,000
24	厚生労働科学特別研究	川村 佐和子	東京都立保健科学大学	教授	ALS(筋萎縮性側索硬化症)患者にかかると在宅療養環境の整備状況に関する調査研究	7,000
25	厚生労働科学特別研究	金井 Pak 雅子	東京女子医科大学 看護学部	教授	看護ニーズに基づき看護労働力の適正配分に関する研究	3,000
26	厚生労働科学特別研究	矢崎 義雄	国立国際医療センター	総長	臨床研究に関する倫理指針の運用に関する研究	8,000
27	厚生労働科学特別研究	吉倉 廣	国立感染症研究所	所長	異種移植の実施に関する実態調査及び安全性確保に関する研究	5,000
28	厚生労働科学特別研究	黒川 清	東海大学総合医学研究所	所長	国内未承認医薬品に関する調査研究	8,000
29	厚生労働科学特別研究	松田 晋哉	産業医科大学	教授	医療機器関連産業における附帯的サービスの実態調査	2,000
30	厚生労働科学特別研究	土屋 文人	東京医科歯科大学附属病院	薬剤部長	医療資材(医薬品・医療材料)におけるトレジャーサビリティに関する研究	10,000
31	厚生労働科学特別研究	櫻井 治彦	中央労働災害防止協会	所長	職場における過労死・自殺の予防に関する研究	8,000
32	厚生労働科学特別研究	新田 裕史	独立行政法人国立環境研究所	総合研究官	日本人のカドミウム暴露量推計に関する研究	6,000
33	厚生労働科学特別研究	坂本 峰至	環境調査研修所国立水俣病総合研究センター	疫学研究部調査室長	魚類等のメチル及び総水銀濃度に関する調査研究	10,000
34	厚生労働科学特別研究	九郎丸 正道	東京大学大学院農学生命科学研究科	助教授	伝達性海綿状脳症に係る牛の脊柱からの脊髄神経節の除去に関する研究	4,000
35	厚生労働科学特別研究	宮村 達男	国立感染症研究所ウイルス第二部	部長	食品に由来するE型肝炎ウイルスのリスク評価に関する研究	15,000
36	厚生労働科学特別研究	各務 伸一	愛知医科大学医学部内科学	教授	いわゆる健康食品による健康被害事例のリスク分析のための研究	5,000
37	厚生労働科学特別研究	飯郷 正明	国立がんセンター研究所化学療法部	室長	ジアシルグリセロールの発がんプロモーション作用に関する研究	25,000
38	厚生労働科学特別研究	金井 淳	東京都江東高齢者医療センター眼科	副院長	1日使用ソフトコンタクトレンズによる健康被害に関する再調査検討	2,000
39	厚生労働科学特別研究	船田 正彦	国立精神・神経センター精神保健研究所	依存性薬物研究室室長	MDMA及び脱法ドラッグの神経毒性ならびに精神依存発現メカニズムの解明	4,000
40	厚生労働科学特別研究	井上 蓮	国立医薬品食品衛生研究所安全性生物試験センター	センター長	医薬品の環境影響評価法に関する研究	3,000
41	厚生労働科学特別研究	高野 正義	財団法人 血液製剤調査機構	専務理事	我が国における血液製剤の平均的使用量に関する研究	8,000

NO.	事業名	主任研究者	所属施設	職名	研究課題	交付決定額 (単位:千円)
42	厚生労働科学特別研究	合田 幸広	国立医薬品食品衛生研究所生薬部	部長	生薬中の農薬分析に関する研究	5,000
43	厚生労働科学特別研究	小沼 杏坪	医療法人せのかがわ KONJUMA記念広島薬物依存研究所	所長	全国の精神科医療モニタ一施設を対象とする依存性薬物情報システムに報告された事例のうち、寛せい剤乱用事例における精神医学的および社会的慢性影響についての実証的研究	5,699
44	厚生労働科学特別研究	森川 茂	国立感染症研究所ウイルス第一部	室長	細胞培養痘そうワクチンの品質管理に関する研究	5,000
45	厚生労働科学特別研究	山崎 幹夫	東京薬科大学	客員教授	一般用医薬品の副作用症例の解析等に関する調査研究	2,000
46	厚生労働科学特別研究	橋本 建生	横浜市立大学医学部	教授	医療安全における患者参加の課題整理と促進方策についての検討	5,000
47	厚生労働科学特別研究	島崎 修次	杏林大学医学部	教授	救急医療の安全性確保のための基準に関する研究	5,000
48	厚生労働科学特別研究	北島 政樹	慶應義塾大学医学部	教授	稀少手術等の安全性に係る研究	5,000
49	厚生労働科学特別研究	中林 正雄	社会福祉法人恩賜財団母子愛育 会総合母子保健センター愛育病院	院長	妊婦のリスク評価に関する基礎的研究	5,000